

カビとカンジダ膣炎

梅雨は食べ物にカビが生えやすい季節です。適当な温度と湿度さえあればカビはどこにでも繁殖することが出来ます。カビの攻撃から例外的に人間だけが安全と言えるわけではありません。

婦人科におけるカビの代表的な病気がカンジダ膣炎です。白い、まるで豆腐を握りつぶしたような帯下（おりもの）と痒みが特徴です。なにも不潔にしていたからかかったのではなく、体力が低下した時や妊娠して体内の環境が変化した時、あるいは抗生物質により膣内の細菌が死滅してカビだけが生き残った時などに症状が出てくるのです。

外陰部を石鹸で洗っても良くはならず、かえって皮膚を弱めてカビを利することになります。深刻な病気ではなく、膣錠と軟膏により治療することが出来ます。

